



# たけだまさみつ 千葉県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 新流山橋、早期建設を要望

# 小児救急医療の対応たがいます



12月県議会で一般質問に登壇した武田正光県議

### 流山市特集

流山市から、市民の声を県政へへと、県議会の舞台に立つ武田正光(たけだ・まさみつ)県議は、12月県議会で当選以来、早くも5回目の一般質問に登壇しました。武田県議は、自らの政策のトップに掲げる小児救急医療問題などを取り上げ、大切な子供たちの命を守る立場から、新型インフルエンザ対策などで、県の対応をたがいました。

ほかに、(仮称)新流山橋の架橋へ向けた取り組み状況と今後のスケジュールをはじめ、つくばエクスプレス沿線土地区画整理事業や東葛飾地域における観光振興、消費者行政のあり方など、地域振興の視点から、しっかりと議員の考えを県執行部に伝えました。武田県議の主な質疑を1、2面で特集します。

### 12月県議会一般質問

武田議員 当選後5度目の一般質問になりますが、当選当初の「初心」を忘れず、いつまでもフレッシュな気持ちで頑張りたいと思っています。小児救急医療は、多くの軽症患者が専門病院に集中し、医療機関の負担が急激に増加しています。最近では、新型インフルエンザの流行で、患者が長蛇の列を作るなど混乱も生じています。

こうした状況に対応するため、千葉県が設置した「こども急病電話相談(受付センター1#8000番)」は、現在、看護師などを増強していますが、その相談状況はどうか。

森田知事 平成17年に始めた千葉県の「こども急病電話相談」は、昨年5月から相談日を拡充し、小児科医と合わせて4名体制で相談に応じています。

こうした体制強化のほか、県民への周知が図られてきたことなど相談件数は増えており、今年11月には、57件と大幅に増加しています。

相談内容は、発熱、吐き気などさまざまですが、その9割は、看護師による助言や相談で解決しており、小児救急医療機関への軽症患者集中の抑制や、保護者の不安解消に大きな効果を上げています。今後とも、県民の安心につながる事業の実施に取り組んでまいります。

武田議員 新型インフルエンザによる小児の重篤患者への対応として、県はどのように取り組んでいるのか。

森田知事 千葉県でも重症化する患者の多くが、15歳未満の小児患者です。

県では、県小児科医会と協力し、小児の新型インフルエンザ患者の入院を受け入れる

### 新流山橋

武田議員 (仮称)新流山橋の現在の状況はどうか。

県土整備部長 新流山橋を含む主要地方道越谷流山線バイパス約0.9キロ区間の整備は、国で取りまとめられた将来交通量推計データをもとに、埼玉県における道路整備計画や事業実施状況を確認し、本計画路線における交通量推計業務を進めているところです。

また、今年8月に流山市と地元自治会及び周辺住民の方々と、事業に関する覚書が締結されたことを受けて、補足の地形測量や県道松戸野田線との交差構造に関する検討に着手しています。

武田議員 これからの事業スケジュールはどのようになっているのか。

県土整備部長 現在進めている交通量推計や交差構造に関する検討の結果が得られ次第、この結果を流山市及び周辺住民の方々に説明したいと考えています。今後も流山市と連携・協力しながら、周辺

39医療機関でネットワークを構成し、受け入れ可能な病床などの情報を把握するシステムを構築したところです。このシステムにより、関係機関での対応状況が把握でき、円滑な受け入れにつながるものと考えています。

### 県道との交差構造検討へ

住民の方々と積極的に対話を行い、事業着手への理解が得られるよう努めてまいります。

また、共同事業者となる埼玉県とも事業化に向けて、事業主体や手法などに関し、十分協議・調整を図ってまいります。

### 要望

新三郷の大型ショッピングモールが本年9月に開店して以来、現在の流山橋として県道松戸野田線の混雑が激しくなっているように感じます。

これからのつくばエクスプレス沿線開発による交通量の増加を考えると恐ろしくなっています。一日も早い新流山橋の建設を強く要望します。

千葉県による継続的な取り組みをお願いいたします。

### 武田正光県議PROFILE

#### 略歴

- 昭和44年 8月9日生まれ
- 昭和57年 流山市立八木南小学校卒
- 昭和60年 流山市立八木中学校卒
- 昭和63年 専修大学松戸高等学校卒
- 平成4年 中央大学商学部卒
- 公認会計士
- 平成19年 県議会議員初当選

#### 現職

- 県議会 県土整備常任委員会副委員長
- 不正経理調査特別委員会委員
- 千葉県 都市計画審議会委員
- 自民党 広報本部委員
- 青年局 青年部常任幹事

●たけだ正光ブログもご覧下さい。毎日更新中!!



たけだ正光 → <http://takedama.exblog.jp/>

お気軽にご相談ください。

# たけだ 正光

事務所 TEL 04-7159-0518

〒270-0163 流山市南流山1-1-2-701

フォト特集

たけだ正光県議

2009年の活動を振り返って



2月予算委員会



4月森田新知事と



6月県議会一般質問



6月県政報告会



9月千葉県内視察



12月県議会一般質問

TX沿線土地区画整理事業

保留地処分は条件緩和で

補助金削減の対応ただす



議場の自席から再質問に立つ武田県議

武田議員 県が施行者となつて進めている流山市木地区の土地区画整理事業の進展には、保留地処分のいかんが大きな鍵を握っています。1年以上売却を見合わせている木地区の大規模保留地(70街区)の処分を、今後どのように行っていくのか。

現在、分割分譲や建築制限の緩和など、分譲条件について検討を進めているところであり、今後の経済情勢や不動産市況の動向を踏まえ、処分時期を見極めてまいりたいと考えています。

武田議員 現政府は行政刷新会議の中で、2010年度の概算要求を厳しく洗い直す作業を進める意向と伝えられおり、これまで通りの国庫補助金の約8割となつていきます。保留地処分ができるまでの間や国庫補助金が減額になった場合、計画通り事業を進めるためには、主に起債での対応となり、新たに借り入れ利息が生じることとなります。

助金が確保できるかどうか不安が残ります。保留地処分までの期間、そして国庫補助金が減額になった場合の事業財源確保をどのように行っていくのか。

武田議員 東葛飾地域には、松戸市に水戸藩最後の藩主・徳川昭武の別邸である戸定邸や、新撰組近藤勇と土方歳三の別れの地である近藤勇陣屋跡があり、野田市には鈴木貫太郎記念館など、歴史的・文化的資源が多数あります。県は、東葛飾地域の観光資源にスポーツを当て、その魅力をもっと発信していくべきだと思います。東葛飾地域における観光振興に向け、どのように取り組んでいくのか。

森田知事 東葛飾地域は、昔から利根川と江戸川の水運で栄えたところであり、歴史・文化的な観光資源が各地に残されています。県としては、

武田議員 消費者庁の発足を踏まえ、県はどのような取り組みをしてきたのか。環境生活部長 消費者事故、消費者被害の発生と拡大を防ぐためには、住民にとって最も身近な市町村に消費生活相談窓口を整備することが重要です。

一方、県は消費者相談等の中核的機能を果たすために、市町村の相談業務の技術支援や相談員の養成に取り組んできたところです。

武田議員 千葉県消費者行政活性化基金をどのように活用していくのか。

環境生活部長 市町村と十分協議した上で①消費生活センターの設置や相談員の増員、②相談時間の延長や相談日の

消費者行政で市町村支援

不正経理で新たな処分

森田知事ら県執行部は、同日県議会の議場で開かれた全員協議会の場で、県民の代表である県議に対し、深く謝罪しました。森田知事は、議場で「コンプライアンス意識の欠如に加え、県庁全体で長年の慣習や前例踏襲によって、組織的に不正経理が行われていたことになりました。

この追加調査結果によつて、新たに4人の職員がプール金を私的に流用したとして懲戒免職処分となり、県職員や県立学校職員ら合計2245人の大量処分が発表されました。また、県の損害金の約9億円をOBを含む職員に全額返済させる方針も明らかにされ、この決定により、堂本曉子前知事には1千万円の返還金が求められるほか、OBや現職職員が返還を迫られることになりました。